

くらし	2・3・4・8面	福祉	2面
▶新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯等の保険料を減免します		こども・教育	3面
▶6月23日～29日は男女共同参画週間		施設	6面
住宅・まちづくり	5・6面	人材募集	6面
		審議会	7面
		保健・衛生	7・8面

しんじゅくコール ☎03-3209-9999
土・日曜日、夜間もご案内
受付時間:午前8時～午後10時
FAX 03-3209-9900

聴覚に障害がある方で「ファックス番号のない記事」へのお問い合わせは、しんじゅくコールのファックスをご利用ください。

6月は「コロナ警戒期間」です。現在、区主催等イベントの中止・延期、区施設等の休館等の対応を行っています。

最新の情報は、新宿区ホームページまたは各主催者・各施設に直接、ご確認ください。

外出自粛中の今こそ地域のつながりを保つためにできることをしてみませんか

新型コロナウイルス感染防止に伴う外出自粛などの影響で、行動が制限されている今だからこそ、人と人とのつながりを持ち続けることが大切です。地域の支え合い活動を実践しているグループをご紹介します。皆さんも、周囲の人とのつながりを保つために行動してみませんか。

【問合せ】地域包括ケア推進課地域包括ケア推進係(本庁舎2階) ☎(5273) 4193・FAX(6205)5083へ。

手作りマスクやお便りの配布、電話での声掛けで地域支え合い活動につなげています

戸山未来・あうねっと



普段は介護予防運動をはじめとしたさまざまな活動をしています。今は、会の参加者向けに、外出自粛中でもできる地域支え合い活動を継続しています(矢沢正春さん/戸山未来・あうねっと代表)。

【安否確認・困りごとの相談等の励ましの電話】

「一人で不安だったが電話が来て心安らかな気持ちになれた」などの声をいただいています。



【手作りマスクの制作・配布】

相手に合わせて色・大きさを変える工夫をしています。「マスクがなかなか買えなくて不安だったので嬉しい」「離れていても心が通じていると実感できた」と喜ばれています。



【「あうねっとだより」の制作】

集まることができなくなったため、制作を始めました(隔週発行)。毎月、会の参加者の皆さん取材したり、皆さんからの反響を掲載することで、お互いの近況を知ることによって役に立っています。

日頃の絆を保つため、今は離れていてもみんなで同じ一つのことに取り組んでいます

尚寿会

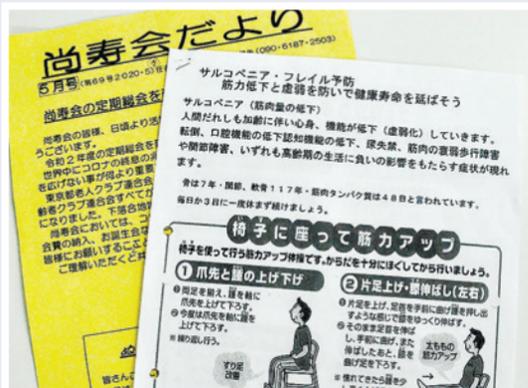


普段は趣味の活動や地域の清掃・町会のお手伝いなどを行っています。今はみんなで集まることができないので、自宅で同じことができるような企画を考えています(高田淳子さん/尚寿会会長)。



【ぬり絵の配布】

「疫病が流行したら私の姿の絵を人々に見せるとよい」と言ったとされる妖怪・アマビエのぬり絵を配布しています。新型コロナウイルス感染症が収束したら、全員のぬり絵で展示会を実施するのが目標です。



【チラシ等の制作・配布】

毎月1回発行している「尚寿会だより」に加え、今は体操などを紹介するチラシも制作・配布しています。



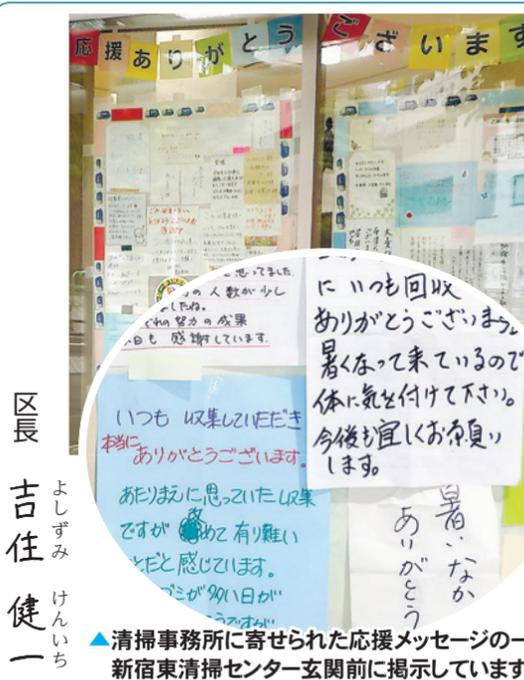
コラム

新宿の未来のために!

新宿区ホームページ「区長の部屋」で写真日誌も公開しています

▼特別定額給付金の支給をお待たせしてしまいい、区民の皆さまにお詫びを申し上げます。平日の残業、休日返上で作業にあたり、5月末までにオンライン申請分の支給開始、全世帯への申請書の発送をいたしました。DV被害等特別な配慮を要する方々や多言語への対応もしつつ、今後は、区民全体にスムーズに支給できるよう、努めてまいります。申請が集中しておりますが、全速力で作業を進めてまいりますので、今しばらくお時間をいただきますようお願いいたします。▼新型コロナウイルスに

対応した、新しい生活様式では、可能な限り人と人の接触を減らす必要があるため、買い物・娯楽・仕事等さまざまな場面でオンラインの活用が推奨されています。今回、オンラインを活用した新たな取り組みを2つご紹介いたします。1つは文化芸術復興支援事業です。区内に数多くある個性豊かな劇場やライブハウスは、新宿の音楽・芸術カルチャーをけん引してきました。コロナの影響で営業自粛が長引く中、収入の大幅な減少や、演奏・演劇の機会が失われるなど困難な状況が続いています。区は、こうした施設や劇団等を支援するため、区内文化芸術施設でアーティストが演じるパフォーマンスの撮影に助成し、インターネットで配信します。アーティストの魅力ある映像を発信していきたいと考えています。▼もう一つは区立学校におけるオンライン学習です。コロナの影響で臨時休校を行ってきた小・中学校は、1日から分散登校等を取り入れながら再開しています。区では中学3年生全員と小学校3年から中学2年までの希望する児童・生徒にタブレット端末を貸与し、デジタル教材で自宅でも学べる取り組みを開始しました。ICT活用が当たり前の時代に生きる子どもたちの成長につながるよう、区も教員の指導力向上や情報モラルの充実に取り組んでいきます。▼最後に、「ごみの収集をする清掃事務所の職員向けにたくさんのお便りメッセージをいただきました。温かいお言葉に感謝しております。」



区長 吉住 健一

▲清掃事務所に寄せられた応援メッセージの一部を新宿東清掃センター玄関前に掲示しています。